

キャッシュレス決済推進事業(PayPayキャンペーン第3弾)について

【趣旨】物価高騰及び新型コロナウイルス感染症の影響への対策等として、①～③の目的により実施

- ① 【物価高騰対策】物価高騰に伴い消費者の購買意欲が低下する中、消費意欲を刺激し、景気回復の起爆剤として実施
- ② 【事業者支援】売上げの増加を見込み、物価高騰、新型コロナウイルス感染症の影響業種である市内事業者の経営を支援
- ③ 【キャッシュレス促進】ウィズコロナの経済対策として、非接触式決済であるキャッシュレスを普及、及び第1、2弾事業の効果の継続と伸長

1 第2弾キャンペーンの総括(事業者アンケート 配布数681、回収率36.7%)

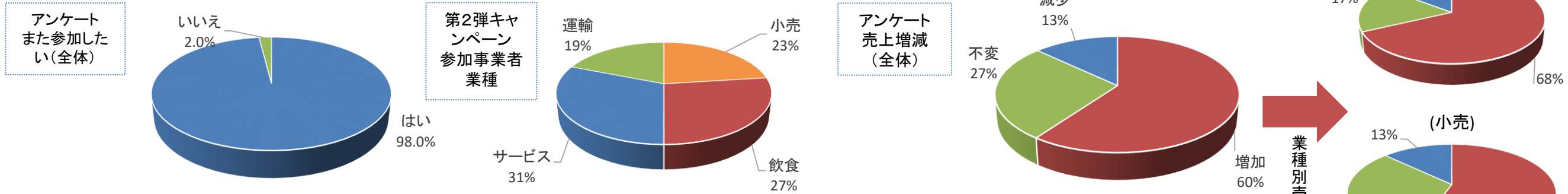
・第2弾キャンペーンは利用箇所数1,706カ所(第1弾比↑167%)、決済金額632,622千円(第1弾比↑131%)、ポイント付与額109,768千円(第1弾比↑130%)

※参考：第1弾利用箇所数1,021カ所、決済金額482,236千円、ポイント付与額84,391千円

・飲食、小売、サービス、運輸の市内事業所(中小企業規模)が参加。コロナや物価高騰の影響を受けている業種にとって効果的な支援となった。

・継続的に実施することで、決済金額、決済回数が増加し、市内経済の活性化につながっている。

・継続実施を望む声大きい。(商工会議所要望、事業者アンケート、北上市市民意識調査による)



2 事業概要

PayPayを使ったポイント還元(20%)を実施。 上限5,000円/回、上限10,000円/月(期間通算)

■実施期間 1月半ば～2月半ば(1カ月間……年度内に事業完了) ▶ 閑散期における支援として、商工会議所から当該期間の実施要望あり

※参考 岩手県キャンペーン 10/1～10/31実施予定 (auPay、PayPay、楽天Pay、d払い 各2,000円相当/回 5,000円相当/期間)

■対象店舗

- ・飲食、小売り、サービス、旅客運輸業を営み、PayPayに加盟している中小企業者。(コンビニ、スーパードラッグストア等の大型店等を除く)
- ・新規加盟店舗は事業実施期間中随時募集。

■実施体制 業務委託(実施事業者 北上商工会議所) ※利用者説明会を複数回開催、高齢者等の利用者をフォロー

■実施目標 市中流通額420,000千円(還元費の約6倍/売上げベース)、対象加盟店舗数1,800箇所(第2弾比↑105%)

3 予算

ポイント原資		70,000千円
販促費	基本ツール単価	@600×1200 720千円
	のぼり旗	@1,072×1200 1,286千円
	運営費	@1,000,000×1.1 1,100千円
運営費	手数料	@ポイント原資×3%×1.1 2,310千円
	会議所経費	3,334千円
計		78,750千円

※ポイント原資、販促費、運営費：PayPay見積もり

※会議所経費：商工会議所見積もり

4 経過・スケジュール

令和4年9月14日 議会全員協議会説明

9月27日 市議会補正予算審議・採決

10月中旬 委託契約締結(予定) ▶ 1月半ばから2月半ばにかけて1カ月間のキャンペーンを実施予定(詳細日程は調整中)